

黒い女王がミツバチたち。分蜂の瞬間です



ぶんぽう  
分蜂



新しい場所を見つけるまで一時的にわたってまっています

ミツバチは日々、いろいろな表情を見せてくれます。  
通常、ひとつの巣箱の中に女王バチは1匹のみ。  
新しい女王バチが生まれると、元々の女王バチは働きバチの約半数を連れて巣を飛び出し、新たな場所に巣を作ろうとします。

飛び出した瞬間、空一面にミツバチが群れをなしあつらしい住居探しをします。

六角形の部屋(巣房)の中で卵から幼虫に変わり、成虫になると膜を破って外にでてきます。

約1ヶ月の人生。  
一生懸命働くその姿に「今日もありがとう」と感謝の気持ちが溢れます。

働きバチ  
誕生



仲間がお手伝いしているように見えますか？

外に出張するミツバチは花粉や蜜を集めてきます。  
巣箱に戻ってきたミツバチをよく見ると後ろ足に黄色いものをつけているのがわかります。これが花粉です。  
花粉や蜜を部屋の中に蓄えて、保存食にするんですって。

花粉  
だんご



2017年の初蜜がとれたよ！  
その様子は次回の耕Lifeで紹介するね！



みんなにもっと知って欲しい！

今年、あなたはミツバチを見ましたか？  
あなたにとってミツバチは、どんな存在ですか？  
刺すからこわい？  
それとも、かわいい？  
ミツバチは、私たち人間が生きていくうえで欠かせない存在です。  
ミツバチについて少しづつ、一緒に学んでいきましょう。

# ミツバチと生きる

第4回



2017年3月  
今年も耕Life編集部は新しいミツバチがやってきてくれました。  
世界中で減少し続けているミツバチ。



今年も大切に大切に育てていきたいと思います。



# みんなの矢作川

生きていくために欠かせない水。私たち矢作川流域の住民は、生活に必要な水、農業用水、工業用水、ほとんどの水を矢作川から得ています。身近すぎて当たり前の存在になっている矢作川。そんな矢作川にスポットをあてて、シリーズでお送りします。

シリーズ第16回

漫画で知るシリーズ  
アユの生態

## アユ子の一生の巻



わたしアユ子！  
川や海を  
行き来する  
回遊魚！

みんなの身近な「矢作川」に住んでいるのよ

スイカやキユウリに似た匂いがあることから「香魚」ことも呼ばれているわ

す♡

秋… 矢作川の下流で産まれたアユ子は、ビチビチの0才

たくさんのお兄さんお姉さんと共に、みんなが流れていく海を目指してわーっ！

卵黄嚢が、あつたから数日は何も食べなくても大丈夫！

母からのおくり物ね…

稚魚の体長は約6mm

ママが下流でたまごをうみまわした

アユって、そうゆう性質があるのよ

ザッパージ

なんどか海へ！

仔稚魚期は海で過ごすのよ

色々なことがあったからね…

おれたちにかまわずいけ！アユ子！

途中で色々なあれもあっただけど…

兄さああん！

さあみんなで川を上りましよう！

そして春

あー

これを「遡上」ってよ

え？なぜ川を遡るかって？

わたしにも分からないのよ、調べてちょうだい☆

途中でダムがあるから、わたし達は魚道を通るのよ

エッサホィッサ

ダムのないときは川を遡って、いたそうだけど

※アユ子